

2022年3月期第2四半期 決算説明資料

セレンディップ・ホールディングス株式会社



100年企業の創造：日本の中堅・中小製造業に経営革新をもたらし、 中小企業の未来を創る

私たちセレンディップグループは、モノづくり企業に特化した事業投資会社として、「経営の近代化」と「地方創生」を積極的に推進します



事業承継プラットフォームの構築

モノづくり製造業を柱にした
地方型事業承継の確立

長期保有を前提とした
成長へのコミットメント



中小企業の経営近代化

プロ経営者を軸とした経営革新

徹底した効率化と見える化を
軸としたDX



ナレッジの蓄積・還流

次世代経営者の育成

M&A、事業承継の標準化と
外部企業への提供

(注) 社会環境や産業構造の急激な変化を敏感に察知して、時代にフィットした経営を行うことを、当社では「経営の近代化」と呼んでいます。

セグメント全体像

① モノづくり事業

- 天竜精機（FA装置製造）
- 佐藤工業（自動車精密部品製造）
- 三井屋工業（自動車内外装部品製造）

② プロフェッショナル・ソリューション事業

- セレンディップ・ホールディングス（プロ経営者派遣、経営コンサルティング）
- セレンディップ・テクノロジーズ（設計・開発・ITエンジニア派遣、ソフトウェア開発）

③ インベストメント事業

- セレンディップ・フィナンシャルサービス（ファンド・共同投資・フィナンシャルアドバイザー）

2022年3月期 第2四半期累計 連結業績サマリ

売上高は、概ね前年同期比並みで着地

営業利益は、インベストメント事業で前期に投資先売却益を確定させた反動で大幅減少

売上高

6,646百万円

前年同期比 $\Delta 2.8\%$

営業利益

37.1百万円

前年同期比 $\Delta 80.2\%$

経常利益

6.2百万円

前年同期比 $\Delta 97.1\%$

親会社株主に
帰属する
四半期
純利益

13.2百万円

前年同期比 $\Delta 87.7\%$

(注) 前年同期につきましては監査法人の四半期レビューの対象外となっております。

2022年3月期 第2四半期累計 連結業績サマリ (セグメント別)

モノづくり事業

売上
6,253百万円

対前年同期 +607百万円

前年同期比 +10.8%

セグメント利益

90百万円

対前年同期 +161百万円

前年同期比 — %

プロフェッショナル・ソリューション事業

590百万円

対前年同期 +67百万円

前年同期比 +13.0%

△20百万円

対前年同期 △71百万円

前年同期比 — %

インベストメント事業

16百万円

対前年同期 △873百万円

前年同期比 △98.1%

△32百万円

対前年同期 △241百万円

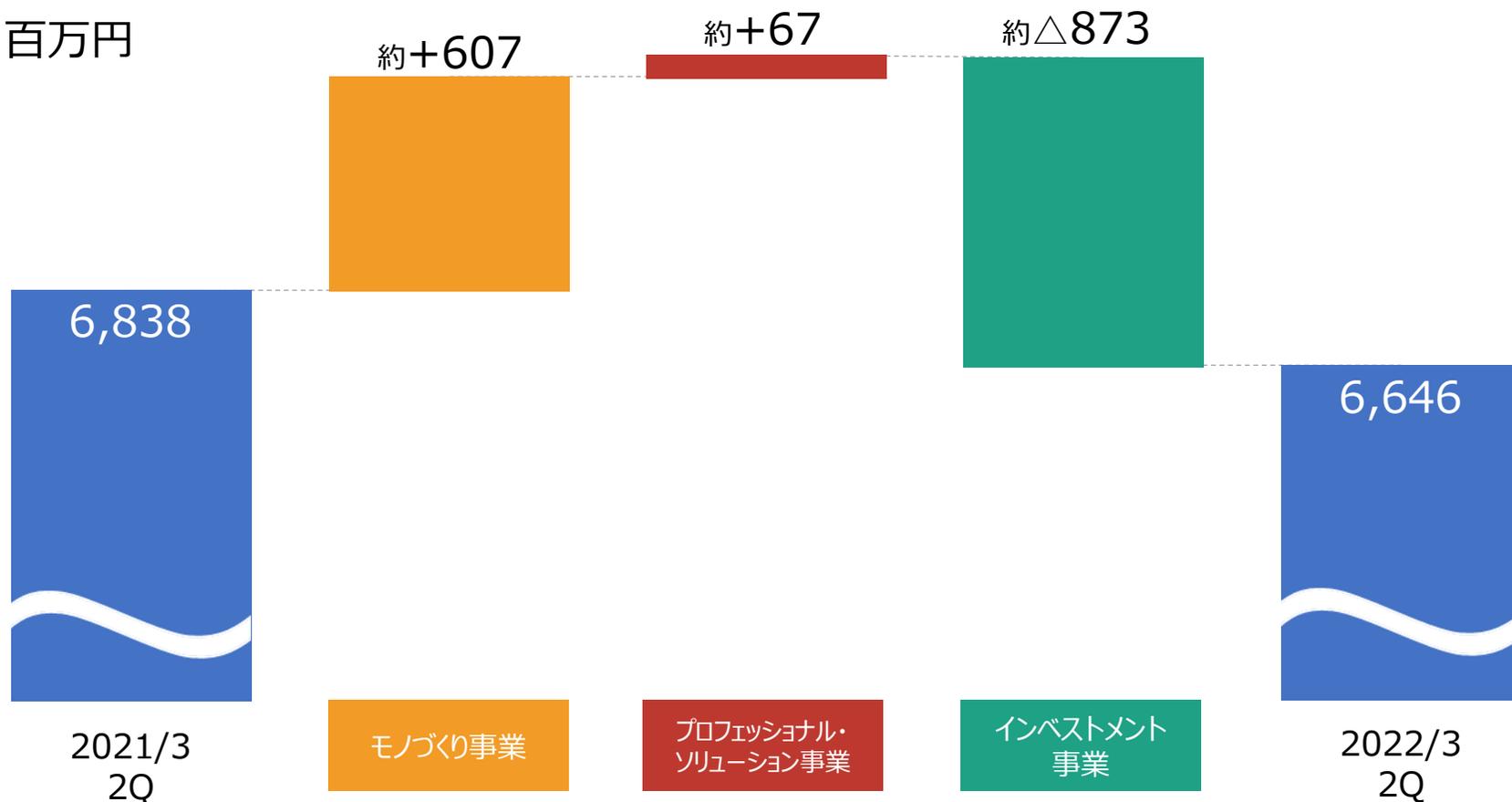
前年同期比 — %

(注) 前年同期につきましては監査法人の四半期レビューの対象外となっております。

2022年3月期 第2四半期累計 連結売上増減分析

モノづくり事業：新型コロナウイルス感染症拡大の影響から受注が回復基調
プロフェッショナル・ソリューション事業：経営コンサルティング案件の受注順調
インベストメント事業：前期に投資先売却益を確定させた反動で大幅減少

単位：百万円

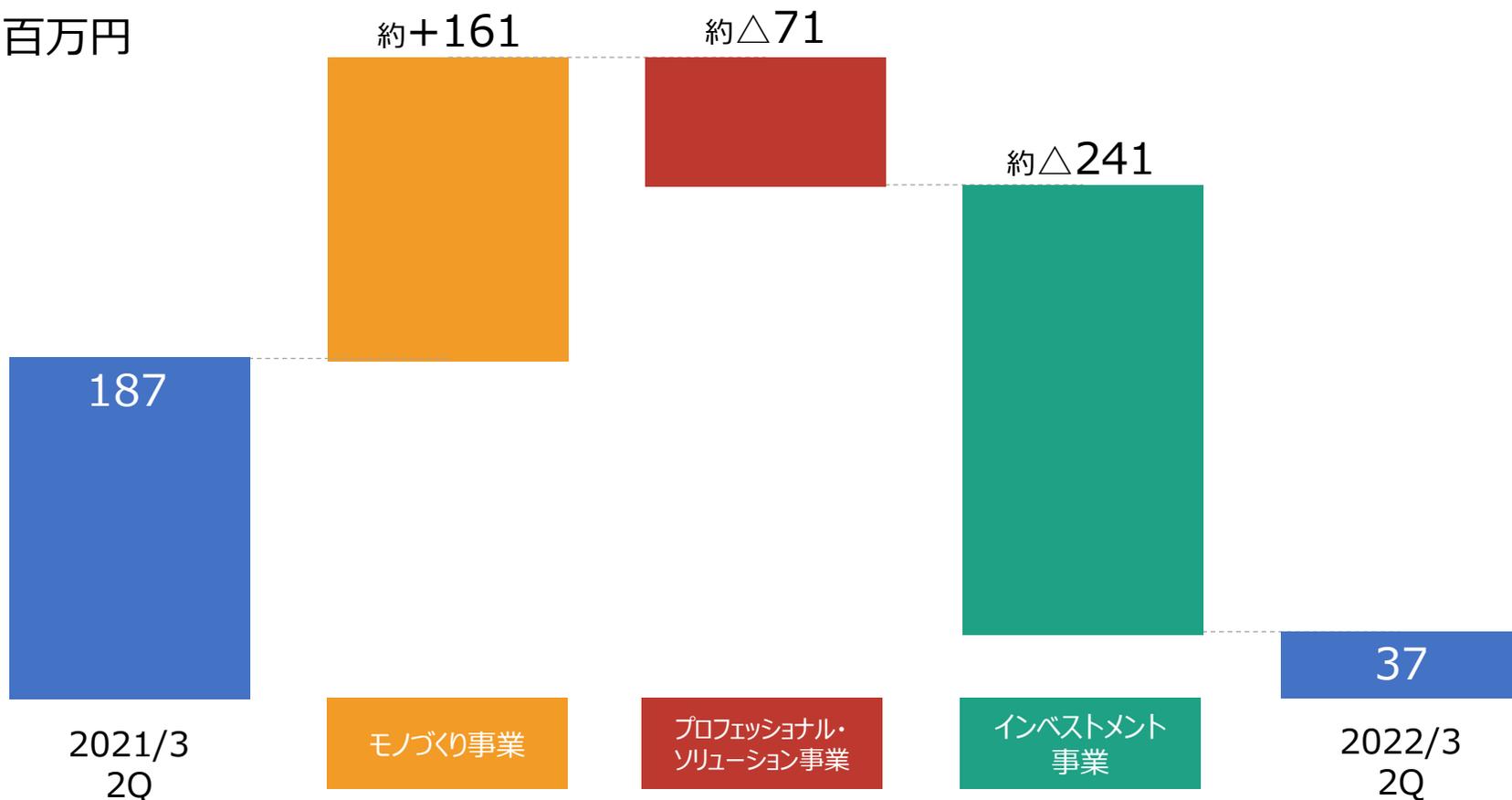


(注) 2021/3 2Qにつきましては監査法人の四半期レビューの対象外となっております。

2022年3月期 第2四半期累計 連結営業利益増減分析

モノづくり事業：受注回復、製造現場における生産性改善により営業利益が増加
プロフェッショナル・ソリューション事業：人件費等の投資が先行
インベストメント事業：前期に投資先売却益を確定させた反動で大幅減少

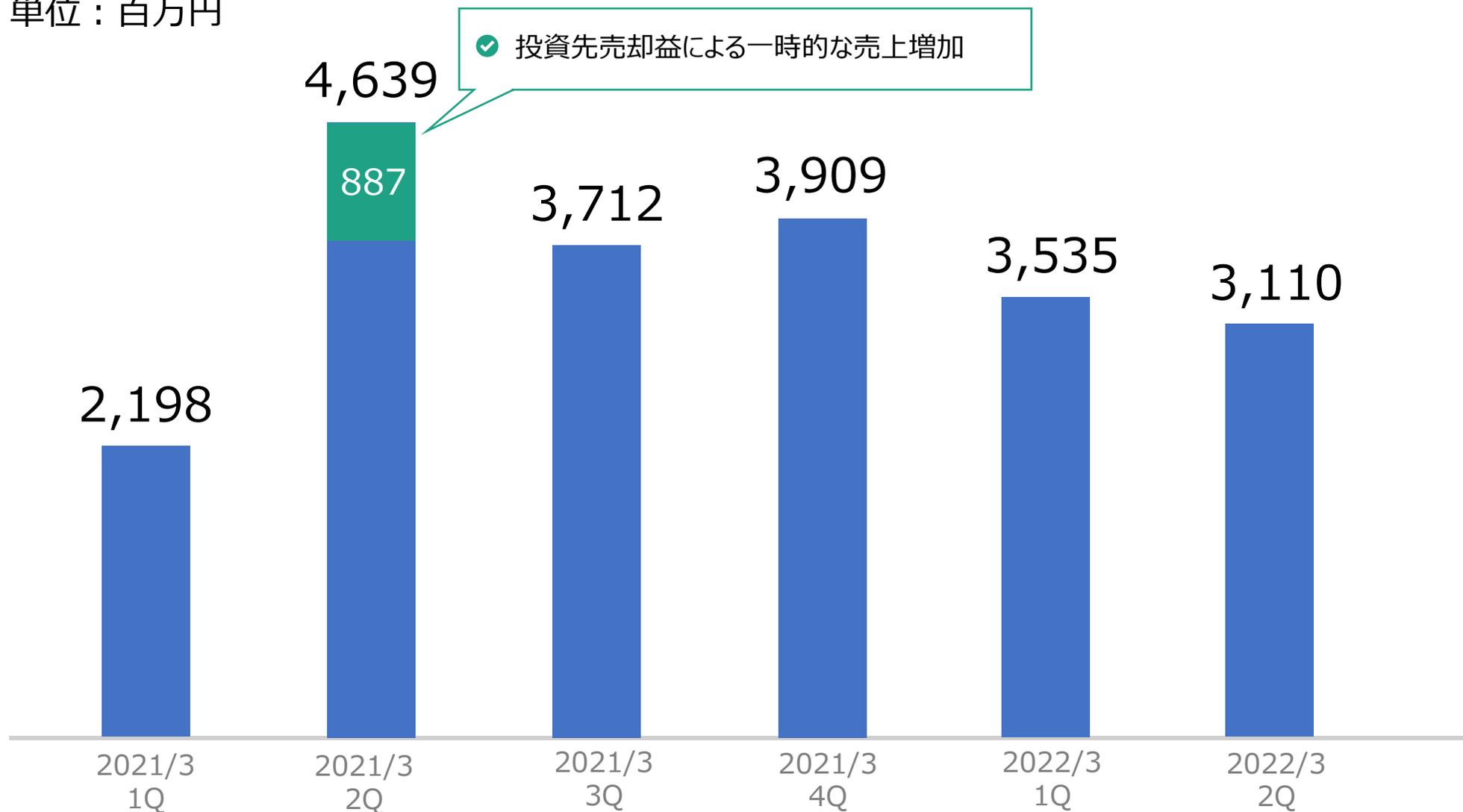
単位：百万円



(注) 2021/3 2Qにつきましては監査法人の四半期レビューの対象外となっております。

連結売上高推移（会計期間）

単位：百万円



(注) 2021/3 4Q以前につきましては監査法人の四半期レビューの対象外となっております。

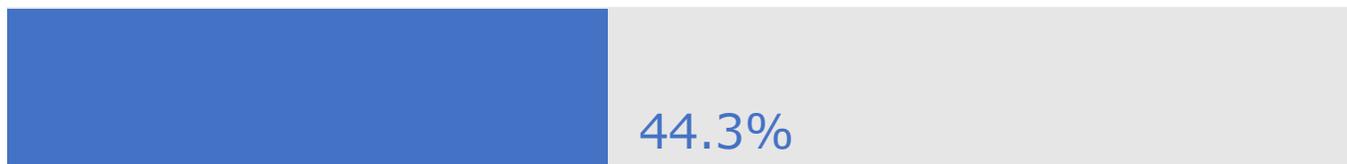
通期連結業績予想に対する進捗率

売上高は、概ね通期業績予想通りで進捗

営業利益は、半導体不足による減産影響はあったが回復基調、業績予想に変更なし

売上

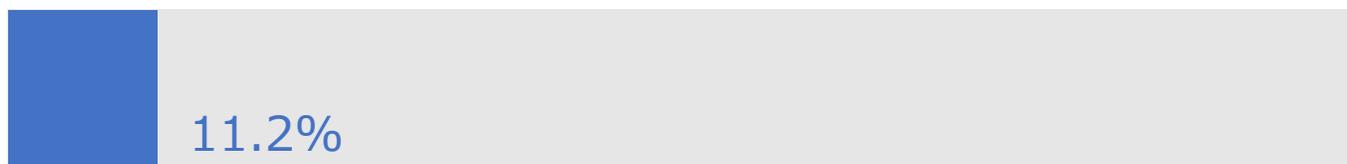
2022/3
2Q累計



業績予想
15,010百万円

営業利益

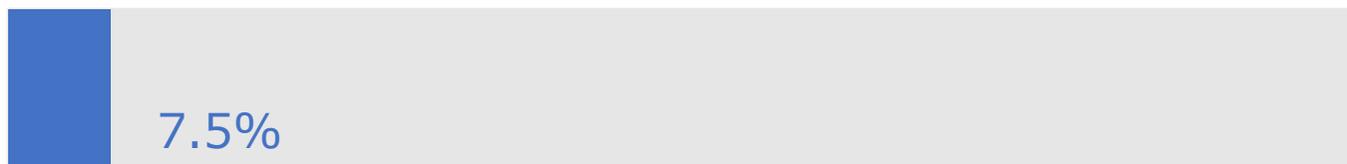
2022/3
2Q累計



業績予想
331百万円

親会社株主に帰属する
当期純利益

2022/3
2Q累計

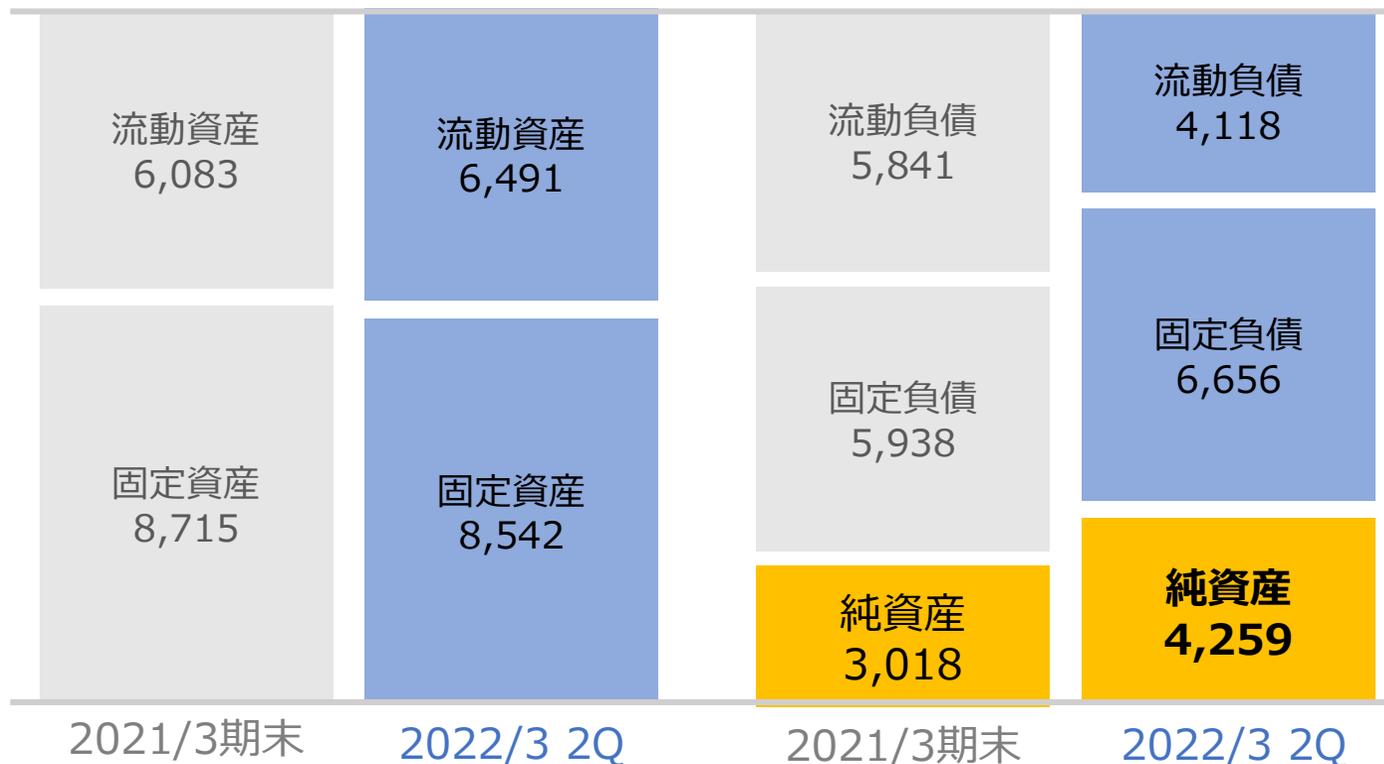


業績予想
175百万円

連結貸借対照表サマリ

- 自己資本比率は、前期末19.8%から27.7%に増加
 上場による公募増資による純資産増加 +1,016百万円
 保有する有価証券の評価益増加 +185百万円
- 補助金活用し、新工場建設コストを抑制 △644百万円

単位：百万円



自己資本比率

27.7%

前期末比+7.9%

WEB会社説明会開催のお知らせ

2022年3月期第2四半期決算説明会開催をお知らせいたします。

日時：12月2日(木) 11:00~12:00

場所：オンライン

応募方法：下記応募フォームよりご連絡ください

URL：<https://forms.office.com/r/2X4dgX6944>

こちらのQRコードからも
登録可能です



本資料に関する免責事項

本資料には、当社又は当社グループに関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づき、本資料の作成時点における予測等を基礎としてなされたものであり、一定の前提（仮定）の下になされています。これらの記述又は前提（仮定）が、客観的には不正確であったり、又は将来実現しないという可能性があります。

また、本資料に記載されている当社及び当社グループ以外の企業等に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。